

課題整理総括表(参考資料)

利用者名様

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)	①						
	④						
状況	「状態の事実」の「現在」 利用者宅の訪問、面談したり、関係者から申し送り で把握した情報(事実)に基づき、それぞれ日常的 にしているかどうかを判断して記入。ICFで整理				備考(状況・支援内容等)		
移動		全介助					
		全介助			改善	維持	悪化
食事	食事内容	支	支障あり				
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		
排泄	排尿・排便	支障なし		支障あり			
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		
口腔	口腔衛生	支障なし		支障あり			
	口腔ケア	自立			改善	維持	悪化
服薬		自立			改善	維持	悪化
入浴		自立			改善	維持	悪化
更衣		自立			改善	維持	悪化
掃除		自立			改善	維持	悪化
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持 悪化
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持 悪化
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持 悪化
買物		自立	見守り	一部介助	全介助	改善	維持 悪化
コミュニケーション能力		支障なし		支障あり	改善	維持	悪化
認知		支障なし		支障あり	改善	維持	悪化
社会との関わり		支障なし		支障あり	改善	維持	悪化
褥瘡・皮膚の問題		支障なし		支障あり	改善	維持	悪化
行動・心理症状(BPSD)		支障なし		支障あり	改善	維持	悪化
介護力(家族関係含む)		支障なし		支障あり	改善	維持	悪化
居住環境		支障なし		支障あり	改善	維持	悪化
					改善	維持	悪化

「自立した日常生活の阻害要因」
情報の収集・分析が終わった後に、ICF
で整理する中で、「支障が起きていると
ころ」「その要因」でまとめられた要因を
かき出す。

「状態の事実」の「改善/維持の可能性」
「状況の事実」の「現在」欄で「自立」「支障なし」以外の
選択項目について、認定有効期間を見通して、「必要な
援助(フォーマル、インフォーマル)」を利用した場合「現
在」の状況が「改善」「維持」する可能性の有無を検討し、
「改善」「維持」「悪化」のいずれかに○をする。
「悪化」が見込まれる場合もその分析の過程で「維持」の
可能性を十分検討する。
多職種からの意見を踏まえる。

「状況の事実」の「備考」
「状況の事実」の「現在」あるいは
「改善/維持の可能性」に関して補
足すべき情報を記入。
例)
「現在」欄で「支障あり」とした場合、
具体的な支障の内容を記載。
「一部介助」「全介助」では、支援
内容を記載。
「改善/維持」とした場合は、何故
そのような可能性があるかと判断し
たかその理由。介護支援専門員
の判断根拠を記入

「状態の事実」の「要因」
「状態の事実」の「現在」欄で「自
立」「支障なし」以外を選択した
項目で、その要因として考えられ
るものを「自立した日常生活の阻
害要因」から選択し、丸数字で記
入。
複数の原因が考えられる場合は、
複数の番号を選ぶ。

作成日

利用者及び家族の 生活に対する意向			
見 通 し ※5		生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6
「見通し」 。ICFの生活機能面で支障が起きていることと、そ の要因を整理しながら、本人の望む生活(意向) を踏まえて、どのようなギャップ(問題)が起きて いるか。 ①この状態が続いた場合、どのような状況が予 測できるか、どんなリスクがあるのか。 ②一方で状況を改善するための促進要因(強味、 モチベーションが上がること等)は何か 専門職の意見も取り入れながらまとめる		課題の優先順位を 踏まえて記入。 利用者としりあわせ た結果、当該プラン には反映しない(で きない)課題は「ー」 印を記入する	
「生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)」 「見通し」欄を踏まえて記入。 「利用者の望む生活」が捉えられ ていることが前提。 専門職の意見も取り入れながら整 理して記入し、①と②から望む生 活にするために、解決すべき課題 は何かを上げる。(2つか3つ) そして、何から解決すると効果的 か、優先順位を書く。 サービス担当者会議前に作成す ることから、介護支援専門員が情 報収集・分析を踏まえて、専門職 として提案する合意前の案であっ ても差し支えない。			

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。

※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「ー」印を記入。